

# 対馬市わくわくデジタル変革宣言

人口減少、多様化する市民ニーズの対応において、これまでの行政サービスをそのまま継続していくことは困難になっていくことが予想されます。新型コロナウイルス感染症を契機としてデジタル化が急速に進展するなか、これまで見直すことが難しかった業務や市民サービスの在り方を抜本的に変えていくことが求められています。

対馬市は、この変革のチャンス「市民サービス」・「地域社会」・「行政運営」の3つの柱で、一人一人がその変化をたのしみ、誰もが利用しやすく、人にやさしい「市民ファースト」のデジタル変革に取り組み、持続可能なまちづくりの推進に取り組むことを宣言します。

令和5年11月29日

対馬市長 比田勝 尚喜

## ～市民ファーストで進めるデジタル変革～

### 市民サービス

利用者の視点に立ち、デジタル技術を活用することで、市民が笑顔になるサービス提供を目指します。

### 地域社会

コミュニケーションの視点で学校や地域にデジタルを浸透させながら、デジタルで教育や地域のつながりの強化を目指します。

### 行政運営

デジタル技術を活用した業務の効率化を図り、人的資源を更なる行政サービスにつなげていく持続可能な行政運営を目指します。

## ～主な取り組み～

- ・ 行政手続のオンライン化
- ・ キャッシュレス決済の導入
- ・ 高齢者等デジタル活用支援
- ・ LINEを活用したスマホ市役所の開設
- ・ デジタル窓口支援システムの導入
- ・ リモート窓口相談システムの導入

- ・ 学校教育におけるGIGAスクールの個別最適な学びの推進
- ・ 地域におけるキャッシュレス決済・デジタルポイント活用（デジタル地域通貨）
- ・ 健康データプラットフォームの構築
- ・ 日々の健康活動で貯まる健康ポイントの導入

- ・ 庁舎内のWi-Fi整備
- ・ 電子決裁の導入
- ・ 電子入札の導入
- ・ ワンストップ窓口（総合窓口）の導入
- ・ テレワークの推進
- ・ AI・RPA等の先進技術の活用
- ・ BPOを導入したDXの推進